

* 調査の詳細は、ホームページをご覧ください。

アイル 景況調査



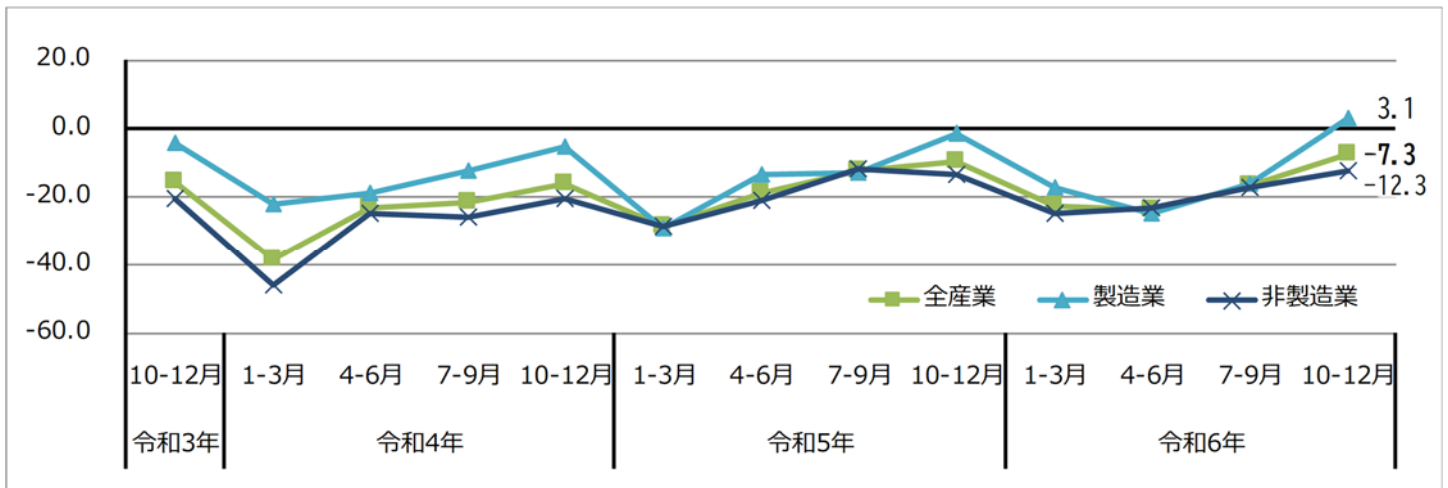
業況判断 DI は全産業、製造業、非製造業いずれも改善。

- ◆ **売上高**：製造業で大幅に改善。全産業、非製造業は改善。
- ◆ **収益**：全産業、製造業、非製造業いずれも改善。
- ◆ **従業員**：全産業、製造業で不足感が高まる。非製造業も不足感が高い状況が続く。

◆ 業況判断（前期比）注（ ）内は前回調査との差を示します。

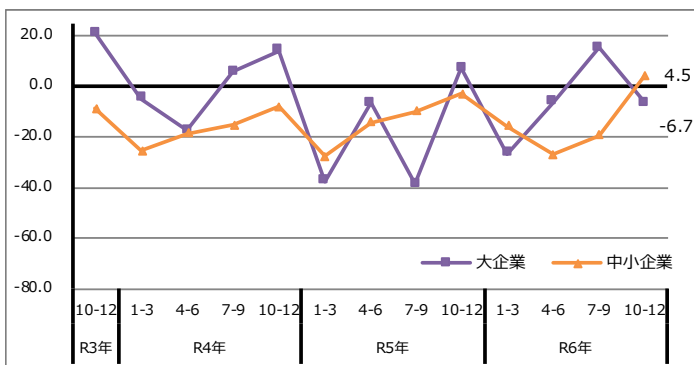
<全体>

業況判断 DI は、▲7.3（+9.2）で改善。業種別では、【製造業】は 3.1（+19.0）で改善し、プラスに転じる。非製造業は▲12.3（+4.6）で改善。



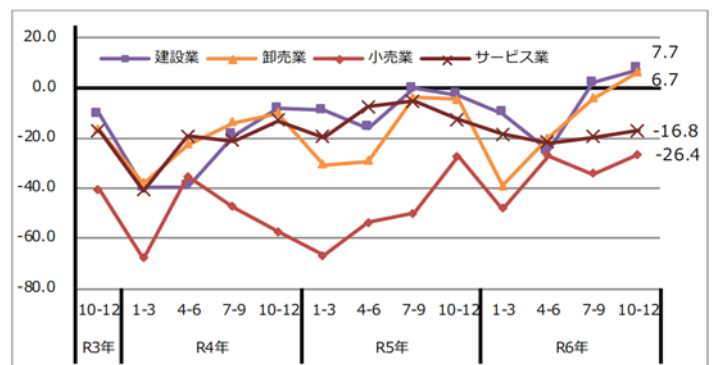
<製造業（規模別）>

【大企業】は▲6.7（-22.1）で大幅に悪化、【中小企業】は 4.5（+23.9）で大幅に改善しました。



<非製造業（業種別）>

建設業は▲7.7（+5.7）、卸売業は 6.7（+10.7）、小売業は▲26.4（+7.6）、サービス業は▲16.8（+2.8）でいずれも改善しました。



DI とは

景気動向指数「デフュージョン・インデックス (Diffusion Index)」の略。「好転」(または「上昇」「増加」「過剰」と回答した企業の比率から「悪化」(または「下降」「低下」「不足」と回答した企業の比率を差し引いたもので、業況の方向感を測るための指標です

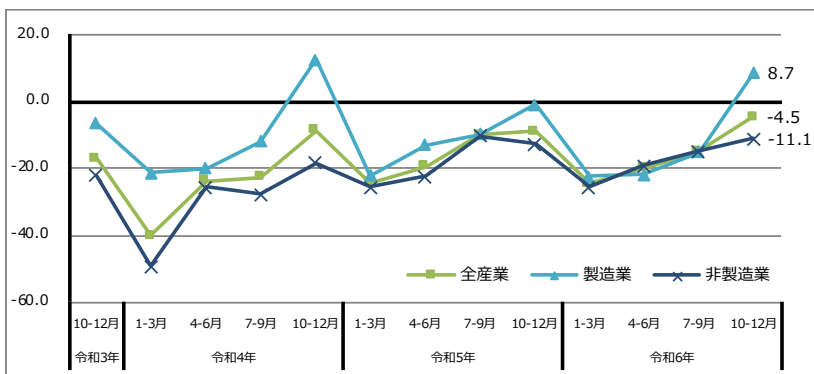
◆業界天気図



| 業種 項目 | 全産業 | 製造業 | | | 非製造業 | | | | |
|-----------|-----|-----|-----|------|------|-----|-----|-----|-------|
| | | 全体 | 大企業 | 中小企業 | 全体 | 建設業 | 卸売業 | 小売業 | サービス業 |
| 今回業況判断DI値 | | | | | | | | | |
| 前回との差 | | | | | | | | | |

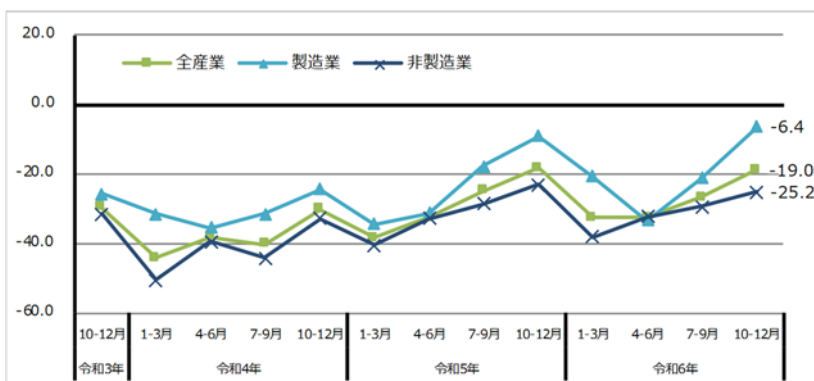
◆出荷額・売上高・完成工事高

- ・出荷額・売上高・完成工事高 DI は、▲4.5 (+10.3) で、3 期連続で改善しました。
- ・【製造業】では 8.7 (+23.7) で大幅に改善し、プラスに転じました。【非製造業】では▲11.1 (+3.6) で改善し、マイナス幅が縮小しました。



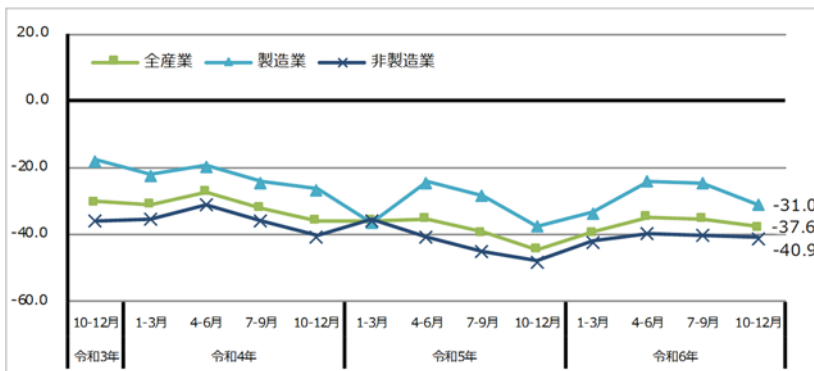
◆収益 (前期比)

- ・収益 (前期比) DI は、収益が前期より「好転」したか「悪化」したかを示すものです。全産業で▲19.0 (+7.8) で改善しました。



◆従業員過不足

- ・従業員の過不足 DI は、▲37.6 (-2.5) で低下し、不足感が強まりました。
- ・【製造業】では、▲31.0 (-6.6) で低下、【非製造業】では、▲40.9 (-0.8) と横ばいでした。



<本資料の問い合わせ先>

■ 尼崎市 経済環境局経済部 産業政策課

担当：宮崎・名井

連絡先：06-6489-6670

■ (公財) 尼崎地域産業活性化機構 調査研究室

担当：仲山・重本

連絡先：06-6488-9501 (代)

<https://www.ama-in.or.jp/research/sub01.html>